

令和4年度 技術・家庭〔家庭分野〕 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

技術・家庭 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第3学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準		評価方法
4	A 家族・家庭生活 ＜17時間＞	1 幼児の生活と家族	知	○幼児の成長や生活と家族や周囲の人びとに支えられていることに気づき、まとめられる。 ○基本的な信頼関係や生活習慣の内容を理解し、生活習慣を身につける大切さを理解している。 ○安全安心なおもちゃに関わる基準や法令がわかる ○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。 ○高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	定期考査 ワークシート 授業ノート 技家ノート 作品 授業観察 提出物
5		2 幼児との関わり			
6					
7					
9					
10			3 家庭生活と地域の関わり		
11		思		○幼児の体の発達についてまとめることができる。 ○幼児の心の発達の特徴について理解している。 ○基本的生活習慣の習得の手立てを考えている。 ○幼児の発達や状況に応じて接し方や話し方、遊び方などを考え、工夫しながら交流をしている。 ○地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだしている。	
12					
1			4 持続可能な家庭生活		
2		主		○興味を持って主体的に活動にかかわっている。 ○幼児期を思い出しながら、主体的に学習活動に取り組んでいる。 ○幼児の成長の学習から自分自身の成長の過程を振り返ることができる。 ○家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	
3					
まとめ ＜1時間＞	3年間の学習を振り返り、多くのことができたようになったことに気づく。		知		
		思			
		主	○家庭分野で学習したことをこれからの学習に生かそうとしている。		